



荒屋小学校便り

令和5年12月号
小松市立荒屋小学校

もうすぐ2023年もおわります。5月にコロナが5類になり、感染への対応もゆるやかになってきたことから、運動会や参観日、そしてさまざまな教科での活動が活発に行われた2学期でした。保護者や地域の方々が来校される機会が増え、子ども達のがんばる姿をたくさん見ていただきました。学習や行事にご協力いただいた方々、来校されて子どもに温かい眼差しを注いでくださった方々に深く感謝申し上げます。

来年も、荒屋小学校をどうぞよろしく願いいたします。



あたたかい思いをつなげて

荒屋小学校には、多くの樹木が植えられていて、季節ごとに花を咲かせたり、実をたわわに実らせたりしています。

春は、ハナミズキ。ピンクのきれいな花が咲き誇ります。

秋は、栗。ものすごく大きな実がなります。実が熟して下に落ちると子ども達は競い合って収穫しています。私がゲットで

きたことは3年間で一度もありません(笑)栗のイガをズックで踏んで、うまく開けているようです。山の子どものように上手です。

つぎに金木犀(きんもくせい)。いい香りが、開けた窓から入ってきます。ザクロの実もなります。種が多いので、子ども達はあまり好んでは食べないようですが、一粒つまんで「わあ、すっぱい!!」と顔をしかめている様子もみかけます。

冬は、赤い山茶花(さざんか)が通学路のすぐ横に咲きます。つぼみも可愛いです。

夏みかんは、昨年大豊作で、希望する児童のご家庭に配付させていただきました。今年も豊作のようです。ぶらぶらと鈴なりになった緑色の実が、だんだんと黄色に色づいてきました。



このように、季節ごとに子ども達にうれしさや楽しさを与えてくれる樹木も、もとは小さな苗でした。「学校に花が咲く・実がなる木を植える」ということは「子ども達に見せたい、体験してもらいたい」という思いを持った人がいたということです。そして何より感慨深いのは、目の前の子ども達だけでなく、未来の荒屋小の子ども達にも思いをさせて、愛情を込めて苗を植えて下さった方がいたということです。

その花や実を見るたびに、荒屋小学校の数年を引き受けた職員として、その方たちの思いをつなげ、子ども達に自然の豊かさ、いのちの素晴らしさ、そして、子ども達一人一人に向けて「あなたは大切な存在ですよ」と伝え続けていきたいと思ひます。

2 学 期 の 活 動



5, 6 年 合宿



体育委員主催
鉄棒発表会



図書委員
読み聞かせ



運動会



4 年 児童発表会



ランランタイム



学校保健委員会



1, 2 年 秋のおみせやさん



体力づくり記録会



5 年収穫感謝の会



3 年丸いもほり



とぼらさん
冬のおはなし会



学校のいろいろな行事・活動に、ご協力くださいました皆様、本当にありがとうございました。